



みんなでCSの課題を共有しよう

～コミュニティスクール担当者会(4月25日)の様子から～

4月25日、令和5年度第1回コミュニティスクール担当者会を開催しました。中信地区の各市町村教育委員会のコミュニティスクール担当者みなさんが集まり、研修会と情報交換を行いました。

運営委員会・協議会で生かせそうな方法を体験！！

研修会では、県文化財・生涯学習課の山極指導主事から信州型CS、文科型CSの仕組みについてお話いただき、その後に「学校運営委員会・運営協議会の充実のために」ということで、実際に2種類の演習を小グループで行いました。

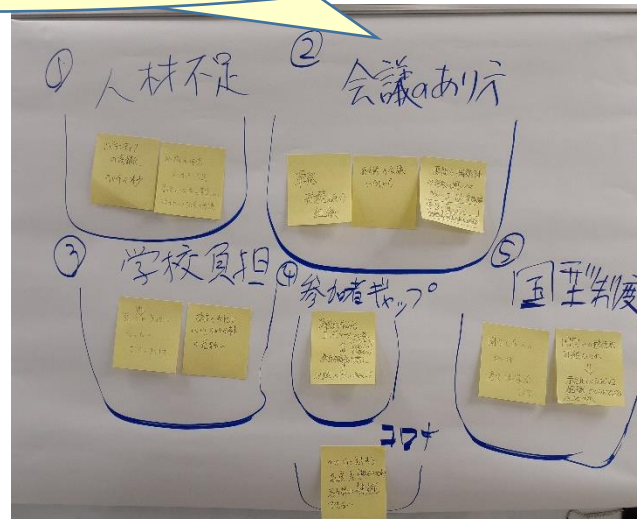
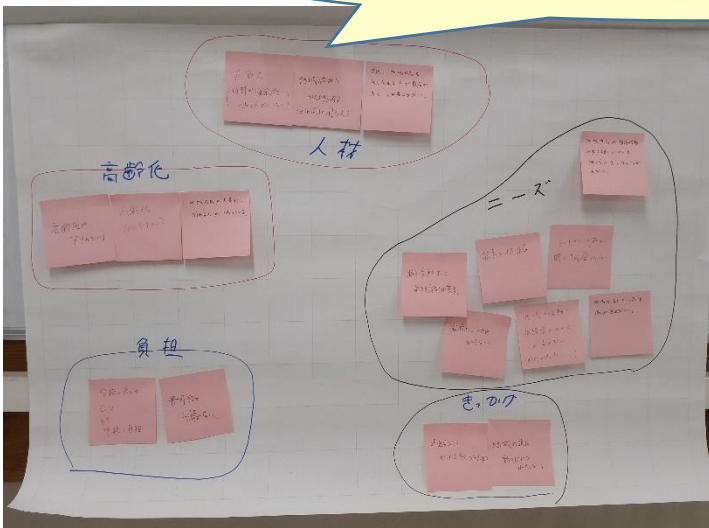
①ラベルワーク：参加者から幅広いアイデアを集め、分類、類型化、構造化する手法

4～5人のグループを作り、テーマについての考えを一人ひとりふせんなどに簡潔に書き、貼っていきます。貼られたふせんを分類し、種類ごとに分けていきます。

②ランキング：テーマに基づく順位付けであり、判断基準の検討に価値がある

今回は、①のラベルワークで分類したものに優先順位を付けていきました。順位をつけることよりも、なぜその順位を付けたか、その理由をお互いに話すことが大事です。

演習後の模造紙から (2グループを抜粋)



市町村の規模や取り組み方に違いはありますが、共通した課題がどこのグループでも出されていました。

特に「**人材の確保**」「**CSについての周知や認識不足**」については、ほとんどのグループで挙げられ、優先順位も高く付けられていました。

☆出された意見の例

【人材の確保】

- ・共働きで時間的に余裕のある人がいない。
- ・協力してくれる人が一部の人に偏ってしまう。
- ・学校の敷居が高く、なかなか集まってもらえない。
- ・ボランティアの高齢化。
- ・コーディネーターの人材確保が難しい。

【CSについての周知や認識不足】

- ・地域でCSについて知っている人が少ない。
- ・運営委員としてどんな意見を言っていればいいかわからない。
- ・課題の共有ができていない。



同じ課題を挙げていても、人によって優先順位のつけ方が違うのも面白いところです。

自分にはない考え方に触れ、視野を広げることができるのがこうした活動のよさですね。



事業計画をもとに情報交換

後半は事業計画を元に情報交換を行いました。前半に共有したCSの課題解決に向けての取組や悩み、今年度力を入れていきたいことなどを話し合い、あっという間の1時間でした。

【アンケートに寄せられた感想より】

- 情報発信など工夫することはたくさんあると思った。1つでも前進できるようにしたい。
- シニア大学と日中、学校の空き教室を使って実施する中で、休み時間に交流している、というのは生かせそうだと感じた。
- 先進的に活動されている市においても同じように悩みながら活動されていることがよく分かった。今、活動している方向は間違いないことも確認できた。地道に進めていきたい。
- 情報の共有で取り組む課題が分かった。

6月23日(金)にコーディネーター等研修会、11月25日(土)に学社連携・協働フォーラムを予定しています。コミュニティスクールの充実、若者の地域活動への参画等について考える機会としたいと思います。ぜひ大勢のみなさん、ご参加ください。(要項等につきましては教育委員会、学校等に後日お送りします。)